



国際交流員の活動紹介

問い合わせ

観光交流課（西20南6、森の交流館・十勝内、☎34・0122）

国際交流員は、市の事業の通訳・翻訳のほか、国際交流イベントの企画や学校訪問など、さまざまな業務を担っている外国出身の職員です。現在、3人の国際交流員が勤務しています。

帯広市の国際交流員

①出身 ②好きな日本語 ③日本に来て驚いたこと ④好きな帯広名物

クリストファー・アンドラーデ



①アメリカ
②和顔愛語
③チツ文化がないこと
④六花亭のチーズケーキ

カーイン・アウ



①オーストラリア
②あかん
③スールやジムでタトゥーを隠すこと
④インディアンカレー

レ・ミン・ゴック



①ベトナム
②黄昏、侘び寂び
③車のクラクションが少なく静かなこと
④豚丼、六花亭

今年度実施したイベントの一部を紹介します

今後の実施予定は市ホームページなどをご覧ください。



▲帯広市の国際・国内交流

学校訪問



小学校を訪問し、母国の文化を児童に紹介しました。初めての授業はとても緊張しました。



カーイン

キッズ・プレイグラウンド



子どもたちと外国の歌を歌ったり、工作をして楽しく交流しました。子どもたちの笑顔に癒されます。



クリストファー

ベトナム料理教室



ブンチャーやチエゴなどのベトナム料理を作りました。参加者の皆さんにいいと言ってもらえてうれしかったです。



ゴック

インターナショナル・トーク



母国オーストラリアについて、語り尽くしました。日本との文化の違いに皆さん驚いていました。



カーイン

認知症に関する情報をお届けします！

ロバ隊長便り

こんにちは！
僕「ロバ隊長」です。



認知症サポーターキャラバンのマスコット。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの先頭を歩きます。

問い合わせ

地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4113）

「もしかして、認知症…？」と思ったら

「最近物忘れが目立つ」「車の運転で慣れた道でも迷うことがある」「身だしなみを構わなくなった」など、日常生活の中で認知症を疑う様子があった時、どうしたらよいでしょうか。



地域包括支援センター（2頁参照）やかかりつけ医などへ相談するほかに、市内には、認知症について専門的な支援や治療を受けることができる「認知症疾患医療センター」があるんだよ！

大江病院認知症疾患医療センター

（西20南2、相談専用☎58・2690、平日9時～12時、13時30分～17時）

認知症の専門的な鑑別診断や相談を行うための医療機関として、十勝で唯一北海道から指定を受けた病院です。担当の相談員を通じて、専門のスタッフが、診断・治療のほか、生活の困り事への対応についてアドバイスをしてくれます。



医師や看護師のほか、公認心理師、若年性認知症支援コーディネーター、ピア（当事者）スタッフなどがいます。

住み慣れた地域で安心した生活を続けるために、早いうちから専門の医療相談を受けることも大切なんだね！



市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより（OCTV 11ch）毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ（毎週月・水・金曜日）おびひろタウンインフォメーション（FM-JAGA77.8MHz）9：15～9：20
おびひろ広報メモ（FM-WING76.1MHz）9：30～9：35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp）

OBIHIRO
CAMERA
REPORT

オビヒロカメラレポ



1月27日から3日間で開催されたおびひろ氷まつり。60回目の節目を記念し、今年は日本氷彫刻会名誉師範の中村順一さんが手掛けた、高さ約5メートル・幅約15メートルの迫力ある大氷壁「北の大地」が展示されました。

また、大滑り台や回転ソリなどの氷のイベントのほか、「光のサークルショー」や市民参加の冰雪像などが会場を盛り上げ、冬の緑ヶ丘公園は、3年ぶりにたくさんの笑顔であふれていました。（1月27～29日、緑ヶ丘公園）

第60回おびひろ氷まつり



冬の寒さや雪を利用して、親子でアイス作りを行いました。

室内で材料を混ぜ合わせた後、袋の中に雪と塩とアイスのもとを詰めたら外遊びスタート。アイス入りの袋を使ったサッカーやキャッチボールなど、雪だらけになりながら親子でとても楽しそうに遊んでいました。

30分ほど外で遊ぶと、あっという間にアイスが完成。「おいしい！」「家でも作れそう」と大好評のアイス作り体験でした。（2月4日、とかち大平原交流センター）

アイス作り体験



新型コロナウイルス感染症に関する相談先

- ◆感染の疑いがある場合や感染に関する一般的な相談：北海道健康相談センター（☎0120・501・507、24時間）
 - ◆陽性になり自宅療養している人の体調などに関する相談：北海道陽性者健康サポートセンター（☎0120・303・111、24時間）
- ※感染の不安やご自身の健康が心配な場合には、健康推進課でも相談を受け付けています。（☎25・9721）